

# 長野県学校体育研究会 令和6年度 研究部グランドデザイン

長野県学校体育研究会は本年が創立70周年となる歴史と伝統のある研究会です。この機会に、本会が残した実績を振り返るとともに、今日的課題を切り拓くため、仲間と協働し研究を深めていきたいと思いをします。

## 共通理念

生涯にわたって運動に親しみ、健康で豊かなスポーツライフを構築していける人間の育成

### 特性再考

運動の特性とは何か。改めて見返し、子どもが生き生きと運動に取り組む授業を目指したい。

### ICT活用

一人一台配置されたタブレットを体育の学習でより有効に活用する方法を考えたい。

### インクルーシブ

特別な支援が必要な子、外国籍の子なども共に学びを深めることができる授業を目指したい。

## 研究の重点

日々の授業の充実 ～すべての子どもが夢中になる運動と授業の工夫～

## 研究テーマ

すべての子どもたちが、自ら運動の楽しさを味わい深めていくにはどうしたらよいか

## 切り拓くべき今日的な課題

- 知識やスキルの習得に偏重した教育
  - 新しい価値や時代を創造する資質能力の必要性の高まり
  - 経済格差による学びの機会の格差
  - 人間関係の固定化
  - リアルな体験活動の減少
  - 人とのつながりの希薄化
- (第4次長野県教育振興基本計画より)

## 長野県学校体育研究会の強み

- 700余名という会員数
- 創立70周年という長い研究の歴史
- 小、中学校が連携して進める研究
- 広く一般的に行われている男女共修の授業
- 全県が一体となって進める研究
- 支部～県の組織

## 信州教育とは何か

- 子どもを中心に据え、子どもの内に建設される「問い」を大切にする教育。
- 学説を参考にしつつも、子どもの学びの事実を重んじ、子どもの実際からスタートしようとする教育。
- 自主独立の精神に基づき、教師一人一人が「正しい」と思うことを革新的に実践しようとする教育。
- 研究会などに自主的・主体的に参加し、そこでの活発な議論により成長しようとする教師。